

天草拓心高等学校 1 学年「科学と人間生活」シラバス（5 月分）

1. 単元 第 4 章 地球や宇宙の科学

第 2 節 身近な天体と太陽系における地球

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識・技能】 ・太陽系天体の特徴について理解させる。 ・太陽が地球に与える影響を理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・太陽系天体の位置や特徴を理解させる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・計画通りに学習を進めることができる。	【知識・技能】 ①太陽系天体の特徴を理解する。 ②太陽が地球に与える影響について理解する。 【思考・判断・表現】 ③太陽系天体がそれぞれどのような特徴を持っているのかを説明できる。 ④地球型惑星と木星型惑星の違いを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤時間割に沿って学習を進め、確認テストを実施し取組をふり返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回 (5/12)	課題	0	・身近な家電に関する調べ学習	レポート提出	⑤
第 2 回 (5/19)	太陽系の構造と広がり	1	・NHK 高校講座地学基礎「太陽系の誕生」「太陽系の広がりと地球」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P142～143 を読む。		①
	太陽系を構成する天体	2	・NHK 高校講座地学基礎「太陽系天体の特徴」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P144～147 を読む。 ・教科書 P156 まとめてみよう①～③を解答する。	Forms による確認テストおよびアンケート	③ ④ ⑤
第 3 回 (5/26)	太陽と人間生活	3	・NHK 高校講座科学と人間生活「生き物を育む太陽」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P142～143 を読む。		②
		4	・教科書 P148～149 を読む。 ・教科書 P157 まとめてみよう④を解答する。	Forms による確認テストおよびアンケート	⑤

天草拓心高等学校 1 学年「地学基礎」シラバス（5 月分）

1. 単元 （1）宇宙における地球

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識・技能】 ・宇宙の誕生と現在の姿について理解させる。 ・銀河系や大規模構造などの宇宙の構造を理解させる。 ・太陽の表面活動やエネルギー源について理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・宇宙が膨張し続けていることを理解する。 ・太陽に代表される恒星が輝く仕組みについて理解する。 【学びに向かう力・人間性等】 ・計画通りに学習を進めることができる。	【知識・技能】 ①宇宙の誕生と構造について理解する。 ②太陽の特徴を理解する。 【思考・判断・表現】 ③宇宙の誕生と現在の宇宙の構造について説明できる。 ④宇宙が膨張し続けていることを論理的に説明できる。 ⑤太陽が輝く仕組みについて説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑥時間割に沿って学習を進め、確認テストを実施し取組をふり返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 (5/15)	宇宙の構成	1	・NHK高校講座「ビッグバンと宇宙の誕生」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P4～5 を読む。		①
		2	・NHK高校講座「銀河と宇宙の大規模構造」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P6～7 を読む。 ・教科書 P20 学習のまとめ 1・2 を解く。	Forms による確認テストおよびアンケート	③ ④ ⑥
第2回 (5/22)	太陽	3	・NHK高校講座「太陽の誕生」「太陽の素顔」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P10～15 を読む。		②
		4	・NHK高校講座「太陽系天体の特徴」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P24～33 を読む。	Forms による確認テストおよびアンケート	⑤ ⑥
第3回 (5/28)	復習・振り返り	5	・生物基礎、地学基礎の両方について、休校中にやり残したこと、理解できなかったところなどを復習しましょう。		
		6	※休校後に簡単なテストを予定しています。しっかりと復習しておきましょう。		

天草拓心高等学校 1 学年「生物基礎」シラバス (5 月分)

1. 単元 (1) 生物と遺伝子

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識・技能】 - 多様な生物の中の共通性を理解する。 - 細胞構造の違いや細胞小器官の役割を理解する。 - マイクロメーターの役割と使い方を理解する。 - 生物が行う代謝の仕組みを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 - 細胞による内部構造の違いや代謝の仕組みを説明できる。 - マイクロメーターによる測定結果から長さを計算できる。 【学びに向かう力・人間性等】 - 計画通りに学習を進めることができる。	【知識・技能】 ①生物に共通性が見られる理由を理解する。 ②異なる細胞の構造を理解する。 ③代謝の仕組みと、ATP の働きを理解する。 【思考・判断・表現】 ④細胞の内部構造を説明できる。 ⑤マイクロメーターの用途や計算方法を理解する。 ⑥代謝の仕組みや ATP の働きを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑦時間割に沿って学習を進め、確認テストを実施し取組をふり返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回 (5/12)	教科書の内容理解	0	・ 5 月 7 日までの課題範囲を見直し、復習の時間に充てる。		⑤
第 2 回 (5/19)	生物の多様性と共通性	1	・ NHK 高校講座「生物の特徴」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・ 教科書 P 20～27 を読む。 ・ 教科書 P 58 演習問題 1 を解く。		①
		2	・ NHK 高校講座「細胞にみられる共通性と多様性」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・ 教科書 P 28～39 を読む。 ・ 教科書 P 58 演習問題 2 を解く。	Forms による確認テストおよびアンケート	② ④ ⑦
第 3 回 (5/26)	細胞とエネルギー	3	・ NHK 高校講座「生命活動を支える代謝」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・ 教科書 P 40～43 を読む。 ・ 教科書 P 59 演習問題 3 を解く。		③ ⑤
		4	・ NHK 高校講座「光合成」「呼吸」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・ 教科書 P 59 演習問題 4 を解く。 ・ 教科書 P 46～51 を読む。	Forms による確認テストおよびアンケート	③ ⑥ ⑦

食品科学科・生活科学科1年「化学基礎」シラバス（5月分）

熊本県立天草拓心高等学校

1. 単元 ・序章 化学と人間生活

・第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成

I 混合物と純物質 II 物質とその成分 III 物質の三態と熱運動

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識・技能】 ・混合物の分離法を理解する。 ・同素体の違いについて理解する。 【思考、判断、表現】 ・純物質と混合物の違いを理解する。 ・単体と化合物の違いを理解する。 ・同素体について理解する。 【関心・意欲・態度】 ・熱心に取り組む。	【知識・技能】 ①純物質と混合物を区別することができる。 ②主な元素記号を書くことができる。 ③同素体を挙げるすることができる。 【思考・判断・表現】 ④純物質と混合物の違いを説明することができる。 ⑤単体と化合物の違いを説明することができる。 ⑥同素体について説明することができる。 【関心・意欲・態度】 ⑦課題・問題等の取り組み状況。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	序章 化学と人間生活	1	・教科書 P3～9 ・プリント P1, 2	プリント	⑦
		2	・プリント P3 (インターネット等を使用した調べ学習)	プリント	⑦
第2回	I 純物質と混合物	3	・NHK高校講座 「第2回 純物質と混合物」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P13～17 を読む。	Forms による 確認テスト	④
		4	・教科書 問1 (P13)、2 (P17) を解く。 ・教科書 章末問題 1～3 (P26) を解く。	Forms による取組の振り返りアンケート ノート確認	① ⑦
第3回	II 物質とその成分 (原子と元素・単体と化合物)	5	・NHK高校講座 「第4回 単体と化合物」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P18～19 を読む。	Forms による 確認テスト	③
		6	・教科書 ドリル①元素記号 (P19) をする。 ・教科書 問3 (P19)、4 (P20) を解く。 ・教科書 章末問題 4 (P26) を解く。	Forms による取組の振り返りアンケート ノート確認	② ③ ⑤ ⑦

天草拓心高等学校 2 学年「生物基礎」シラバス (5 月分)

1. 単元 (1) 生物と遺伝子

2. 単元目標	3. 評価規準
【知識・技能】 - 多様な生物の中の共通性を理解する。 - 細胞構造の違いや細胞小器官の役割を理解する。 - マイクロメーターの役割と使い方を理解する。 - 生物が行う代謝の仕組みを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 - 細胞による内部構造の違いや代謝の仕組みを説明できる。 - マイクロメーターによる測定結果から長さを計算できる。 【学びに向かう力・人間性等】 - 計画通りに学習を進めることができる。	【知識・技能】 ①生物に共通性が見られる理由を理解する。 ②異なる細胞の構造を理解する。 ③代謝の仕組みと、ATP の働きを理解する。 【思考・判断・表現】 ④細胞の内部構造を説明できる。 ⑤マイクロメーターの用途や計算方法を理解する。 ⑥代謝の仕組みや ATP の働きを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑦時間割に沿って学習を進め、確認テストを実施し取組をふり返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回 (5/12)	教科書の内容理解	0	・ 5 月 7 日までの課題範囲を見直し、復習の時間に充てる。		⑤
第 2 回 (5/19)	生物の多様性と共通性	1	・ NHK 高校講座「生物の特徴」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・ 教科書 P 20～27 を読む。 ・ 教科書 P 58 演習問題 1 を解く。		①
		2	・ NHK 高校講座「細胞にみられる共通性と多様性」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・ 教科書 P 28～39 を読む。 ・ 教科書 P 58 演習問題 2 を解く。	Forms による確認テストおよびアンケート	② ④ ⑦
第 3 回 (5/26)	細胞とエネルギー	3	・ NHK 高校講座「生命活動を支える代謝」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・ 教科書 P 40～43 を読む。 ・ 教科書 P 59 演習問題 3 を解く。		③ ⑤
		4	・ NHK 高校講座「光合成」「呼吸」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・ 教科書 P 59 演習問題 4 を解く。 ・ 教科書 P 46～51 を読む。	Forms による確認テストおよびアンケート	③ ⑥ ⑦

普通科・生物生産科2年「化学基礎」シラバス（5月分）

熊本県立天草拓心高等学校

1. 単元 ・序章 化学と人間生活

・第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成

I 混合物と純物質 II 物質とその成分 III 物質の三態と熱運動

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識・技能】 ・混合物の分離法を理解する。 ・同素体の違いについて理解する。 【思考, 判断, 表現】 ・純物質と混合物の違いを理解する。 ・単体と化合物の違いを理解する。 ・同素体について理解する。 【関心・意欲・態度】 ・熱心に取り組む。	【知識・技能】 ①純物質と混合物を区別することができる。 ②主な元素記号を書くことができる。 ③同素体を挙げるすることができる。 【思考・判断・表現】 ④純物質と混合物の違いを説明することができる。 ⑤単体と化合物の違いを説明することができる。 ⑥同素体について説明することができる。 【関心・意欲・態度】 ⑦課題・問題等の取り組み状況。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	序章 化学と人間生活	1	・教科書 P3～9 ・プリント P1, 2	プリント	⑦
		2	・プリント P3 (インターネット等を使用した調べ学習)	プリント	⑦
第2回	I 純物質と混合物	3	・NHK高校講座 「第2回 純物質と混合物」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P13～17 を読む。	Forms による 確認テスト	④
		4	・教科書 問 1 (P13)、2 (P17) を解く。 ・教科書 章末問題 1～3 (P26) を解く。	Forms による取組の振り返りアンケート ノート確認	① ⑦
第3回	II 物質とその成分 (原子と元素・単体と化合物)	5	・NHK高校講座 「第4回 単体と化合物」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P18～19 を読む。	Forms による 確認テスト	③
		6	・教科書 ドリル①元素記号 (P19) をする。 ・教科書 問 3 (P19)、4 (P20) を解く。 ・教科書 章末問題 4 (P26) を解く。	Forms による取組の振り返りアンケート ノート確認	② ③ ⑤ ⑦

天草拓心高等学校 3 学年「科学と人間生活」シラバス (5 月分)

1. 単元 第 4 章 地球や宇宙の科学

第 2 節 身近な天体と太陽系における地球

2. 単元目標	3. 評価規準
【知識・技能】 ・太陽系天体の特徴について理解させる。 ・太陽が地球に与える影響を理解させる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・太陽系天体の位置や特徴を理解させる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・計画通りに学習を進めることができる。	【知識・技能】 ①太陽系天体の特徴を理解する。 ②太陽が地球に与える影響について理解する。 【思考・判断・表現】 ③太陽系天体がそれぞれどのような特徴を持っているのかを説明できる。 ④地球型惑星と木星型惑星の違いを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑤時間割に沿って学習を進め、確認テストを実施し取組をふり返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第 1 回 (5/12)	課題	0	・身近な家電に関する調べ学習	レポート提出	⑤
第 2 回 (5/19)	太陽系の構造と広がり	1	・NHK 高校講座地学基礎「太陽系の誕生」「太陽系の広がりと地球」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P142～143 を読む。		①
	太陽系を構成する天体	2	・NHK 高校講座地学基礎「太陽系天体の特徴」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P144～147 を読む。 ・教科書 P156 まとめてみよう①～③を解答する。	Forms による確認テストおよびアンケート	③ ④ ⑤
第 3 回 (5/26)	太陽と人間生活	3	・NHK 高校講座科学と人間生活「生き物を育む太陽」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P142～143 を読む。		②
		4	・教科書 P148～149 を読む。 ・教科書 P157 まとめてみよう④を解答する。	Forms による確認テストおよびアンケート	⑤

天草拓心高等学校 3 学年「生物基礎」シラバス (5 月分)

1. 単元 (1) 生物と遺伝子

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識・技能】 ・多様な生物の中の共通性を理解する。 ・細胞構造の違いや細胞小器官の役割を理解する。 ・マイクロメーターの役割と使い方を理解する。 ・生物が行う代謝の仕組みを理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 ・細胞による内部構造の違いや代謝の仕組みを説明できる。 ・マイクロメーターによる測定結果から長さを計算できる。 【学びに向かう力・人間性等】 ・計画通りに学習を進めることができる。	【知識・技能】 ①生物に共通性が見られる理由を理解する。 ②異なる細胞の構造を理解する。 ③代謝の仕組みと、ATPの働きを理解する。 【思考・判断・表現】 ④細胞の内部構造を説明できる。 ⑤マイクロメーターの用途や計算方法を理解する。 ⑥代謝の仕組みやATPの働きを説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ⑦時間割に沿って学習を進め、確認テストを実施し取組をふり返ることができる。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 (5/12)	教科書の内容理解	0	・5月7日までの課題範囲を見直し、復習の時間に充てる。		⑤
第2回 (5/19)	生物の多様性と共通性	1	・NHK高校講座「生物の特徴」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P 20～27 を読む。 ・教科書 P 58 演習問題 1 を解く。		①
		2	・NHK高校講座「細胞にみられる共通性と多様性」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P 28～39 を読む。 ・教科書 P 58 演習問題 2 を解く。	Forms による確認テストおよびアンケート	② ④ ⑦
第3回 (5/26)	細胞とエネルギー	3	・NHK高校講座「生命活動を支える代謝」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P 40～43 を読む。 ・教科書 P 59 演習問題 3 を解く。		③ ⑤
		4	・NHK高校講座「光合成」「呼吸」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P 59 演習問題 4 を解く。 ・教科書 P 46～51 を読む。	Forms による確認テストおよびアンケート	③ ⑥ ⑦

商業科3年「化学基礎」シラバス（5月分）

熊本県立天草拓心高等学校

1. 単元 ・序章 化学と人間生活

・第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成

I 混合物と純物質 II 物質とその成分 III 物質の三態と熱運動

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識・技能】 ・混合物の分離法を理解する。 ・同素体の違いについて理解する。 【思考、判断、表現】 ・純物質と混合物の違いを理解する。 ・単体と化合物の違いを理解する。 ・同素体について理解する。 【関心・意欲・態度】 ・熱心に取り組む。	【知識・技能】 ①純物質と混合物を区別することができる。 ②主な元素記号を書くことができる。 ③同素体を挙げることができる。 【思考・判断・表現】 ④純物質と混合物の違いを説明することができる。 ⑤単体と化合物の違いを説明することができる。 ⑥同素体について説明することができる。 【関心・意欲・態度】 ⑦課題・問題等の取り組み状況。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	序章 化学と人間生活	1	・教科書 P3～9 ・プリント P1, 2	プリント	⑦
		2	・プリント P3 (インターネット等を使用した調べ学習)	プリント	⑦
第2回	I 純物質と混合物	3	・NHK高校講座「第2回 純物質と混合物」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P13～17 を読む。	Forms による確認テスト	④
		4	・教科書 問1 (P13)、2 (P17) を解く。 ・教科書 章末問題 1～3 (P26) を解く。	Forms による取組の振り返りアンケート ノート確認	① ⑦
第3回	II 物質とその成分 (原子と元素・単体と化合物)	5	・NHK高校講座「第4回 単体と化合物」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P18～19 を読む。	Forms による確認テスト	③
		6	・教科書 ドリル①元素記号 (P19) をする。 ・教科書 問3 (P19)、4 (P20) を解く。 ・教科書 章末問題 4 (P26) を解く。	Forms による取組の振り返りアンケート ノート確認	② ③ ⑤ ⑦

熊本県立天草拓心高等学校 「化学」 シラバス (5月分)

1. 単元 第1編 物質の状態

第2章 物質の状態変化 ①粒子の熱運動 ②三体の変化とエネルギー
③気液平衡と蒸気圧

第3章 気体 ①気体の体積

2. 単元の目標	3. 評価規準
【知識・技能】 ・物質の三態について理解する。 ・蒸気圧を理解する。 ・気体の体積、温度、圧力の関係について理解する。 【思考、判断、表現】 ・物質の状態を熱運動で説明する。 ・蒸気圧曲線を使って、沸点を読み取る。 【関心・意欲・態度】 ・熱心に取り組む。	【知識・技能】 ①物質の三態や状態変化を説明することができる。 ②温度変化や状態変化の際の熱の出入りを計算で求めることができる。 ③ボイル、シャルル、ボイル・シャルルの法則を使うことができる。 【思考・判断・表現】 ④蒸気圧曲線から物質の状態を読み取ることができる。 【関心・意欲・態度】 ⑤課題・問題等の取り組み状況。

4. 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回	昨年度の復習	1	身近な物質の調べ学習 (インターネット・本等を使用)	レポート提出	⑤
		2	身近な物質の調べ学習 (インターネット・本等を使用)	レポート提出	⑤
第2回	①粒子の熱運動 ②三態の変化とエネルギー	3	・NHK高校講座 化学基礎 「第3回 物質の三態」動画視聴、学習メモ pdf を読む。 ・教科書 P27～29 を読む。 ・プリント P1, 2 をうめる。	Forms による 確認テスト プリント提出	①
		4	・教科書 P30 を読む。 ・プリント P3 をうめる。 ・教科書 P30 の例題2を写し、類題2を解く。	ノート提出 プリント提出	②
第3回	③気液平衡と蒸気圧	5	・教科書 P31～34 を読む。 ・プリント P4～6 をうめる。	Forms による 確認テスト プリント提出	⑤
		6	・教科書 P33 の問2, 3を解く。 ・教科書 P35 の章末問題2, 3を解く。	ノート提出	④
第4回	①気体の体積	7	・教科書 P36～38 を読む。 ・プリント P7, 8 をうめる。	Forms による 確認テスト プリント提出	⑤
		8	・教科書 P36, 37 の問4～5を解く。 ・教科書 P38 の例題3を写し、類題3を解く。	ノート提出	③

普通科3年「生物」(4単位)シラバス(5月分)

天草拓心高等学校(本渡校舎)

1 単元

生命と物質

(1) 生体物質と細胞

(2) 生命現象とタンパク質

2 単元の目標

(1) 細胞の内部構造とそれを構成する物質の特徴を理解する。

(2) さまざまなタンパク質がさまざまな生命現象を支えていることを理解する。

3 評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
①細胞小器官や細胞のはたらきを分子レベルで調べようとする。	②細胞の内部構造とそれを構成するさまざまな細胞小器官や細胞骨格などの特徴、生体膜について考えることができる。	③植物細胞が外液との浸透圧の関係で原形質分離を起こす様子を観察できる。	④生物体を構成する有機物や無機物、細胞との関係がわかる。
⑤細胞小器官や細胞のはたらきをタンパク質の分子レベルで調べようとする。	⑥生体物質の円滑な合成では、酵素が触媒として作用していることや、輸送物質・情報物質としてのタンパク質がさまざまな生命現象を支えていることを考えることができる。	⑦葉緑体の動きを確認し、原形質流動について調べることができる。	⑧タンパク質の構造や生命現象におけるタンパク質の役割がわかる。

4 授業計画

授業回	学習項目	時間	学習内容	評価方法	評価規準
第1回 5/12	・生物を構成する物質 ・細胞	1	・教科書P10～P19を読む。	・重要語句等を意味も併せてノートにまとめる	①・②
		2	・研究ノート1～3、18を解く。		②・④
第2回 5/15	・細胞骨格 ・生体膜	3	・教科書P20～P27を読む。	・重要語句等を意味も併せてノートにまとめる	①・②
		4	・研究ノート11～14、19を解く。	・Formsによる確認テスト	②・④
第3回 5/19	・タンパク質の構造 ・酵素	5	・教科書P28～P35を読む。	・重要語句等を意味も併せてノートにまとめる	⑤・⑥
		6	・研究ノート4～6を解く。	・Formsによる確認テスト	⑥・⑧
第4回 5/22	・酵素	7	・教科書P32～P38を読む。	・重要語句等を意味も併せてノートにまとめる	⑤・⑥
		8	・研究ノート7～9、20を解く。		⑥・⑧
第5回 5/26	・さまざまなタンパク質のはたらき ・免疫にかかわるタンパク質	9	・教科書P39～P47を読む。	・重要語句等を意味も併せてノートにまとめる	⑤・⑥
		10	・研究ノート10、15～17を解く。	・Formsによる確認テスト	⑥・⑧